RICOH Smart Device Print&Scan

操作マニュアル< Android 用>

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

目次

1. Smart Device Print&Scan とは

2. アプリケーションを起動する

3. 事前設定をする

4. 印刷する

5. セキュリティー機能を使用して印刷する

6. スキャンする

7. こまったときには

8. 付録

使用説明書の読みかた

使用されているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

操作するときに注意していただきたいことや、制限事項などを説明しています。必ずお読みください。

補足

知っておくと便利な情報や、補足的な操作方法などを説明しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

[ ]

画面の項目やボタンの名称を示します。

おことわり

- 本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本製品に異常が生じた場合、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウエア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

製品の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の製品とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

本書は Android OS バージョン 4.1.2 の Nexus 7 を元に作成しています。

本アプリケーションや Android OS、Android デバイスの改良変更等により、本書のイラストや記載事項と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

1. Smart Device Print&Scan とは

Smart Device Print&Scan でできること

Smart Device Print&Scan を使用して、以下のことができます。

- Android デバイス内にある写真を印刷する。
- Android デバイス内にある PDF を印刷する。
- クリップボードに保存されたテキストを印刷する。
- Smart Device Print&Scan で表示している Web ページを印刷する。
- クラウドストレージに保存されている画像と PDF を印刷する。
- スキャナーで文書を取り込む。
- ほかのアプリケーションから［アプリケーションを選択］を使用して開いた写真と PDF を印刷する。
- 機器のユーザーコード認証や機密印刷機能を使用してセキュアな印刷をする。
- 機器のオンデマンド印刷オプションを使用して印刷をする。
- プリントサーバーを使用して印刷をする。

お使いになる前に

Android デバイスを Wi-Fi に接続する

1. Android デバイスの［設定］→［無線とネットワーク］→［Wi-Fi 設定］をタップします。
2. 利用する環境の Wi-Fi ネットワークを選択して、設定します。
3. Wi-Fi に接続します。

補足

- ネットワークの設定の詳細は、管理者に問い合わせてください。

機器をネットワークに接続する

利用する機器の取扱説明書を確認してください。ネットワークの詳細は、管理者に問い合わせてください。

2. アプリケーションを起動する

メインメニュー

［RICOH Print&Scan］をタップしてアプリケーションを起動すると、［Smart Device Print&Scan］画面が表示されます。

以下のメニュー項目があります。

写真をプリント	Android デバイス内の写真を印刷します。 参照 • P.19「写真を印刷する」
書類をプリント	Android デバイス内の PDF を印刷します。 参照 • P.20「書類を印刷する」
クリップボードをプリント	クリップボードにコピーされているテキストを印刷します。 参照 • P.22「クリップボードを印刷する」
Web ページをプリント	Smart Device Print&Scan で表示している Web ページを印刷します。 参照 • P.23「Web ページを印刷する」
クラウドからプリント	クラウドストレージにある画像と PDF を印刷します。 対応しているクラウドストレージは、Dropbox と Google Drive です。 参照 • P.24「クラウドにある書類を印刷する」
スキャナーで取り込む	接続している機器でスキャンして取り込みます。 参照 • P.31「スキャナーで取り込む」
スキャンデータフォルダ	Android デバイス内に保存されたスキャンファイルを確認します。 参照 • P.33「スキャナーで取り込んだデータを確認する」

設定	以下の設定項目が表示されます。 • 印刷設定 参照 • P.14「印刷属性の初期値を設定する」 • スキャン設定 参照 • P.16「スキャン属性の初期値を設定する」 • 機器選択 参照 • P.11「使用する機器を登録する」 • 認証設定 参照 • P.17「認証設定をする」 • ヘルプ 本書を表示します。 • バージョン バージョン情報を表示します。 • サポート サポート情報を掲載した Web ページ表示します。 • お問い合わせ 問い合わせ先を掲載した Web ページ表示します。

3. 事前設定をする

使用する機器を登録する

使用する機器を登録するときや、印刷やスキャンを実行するときに、ping によって機器が応答するかどうかを確認できます。

1. メインメニューの［設定］をタップします。
2. ［その他設定］をタップします。
3. ［機器通信確認］を設定します。

   ping による通信確認をするときは、チェックを付けます。ping による通信確認をしないとき、または ping を使用できない通信環境のときは、チェックを外します。

Bonjour で検索する

重要

- 機器が PDF ダイレクトプリント機能に対応しているときは、［PDF ダイレクトプリント］の項目が表示されます。

1. メインメニューの［設定］をタップします。
2. ［機器選択］をタップします。
3. ［機器検索］をタップします。
4. ［Bonjour 検索］の［機器検索］をタップします。
5. ［機器検索結果］画面で、追加する機器にチェックを付けます。
6. ［機器追加］をタップします。

   ［機器選択］一覧に追加されます。

補足

- 動作確認されていない機器も検索結果に表示されます。動作確認済みの機器については、P.41「対応機器」を参照してください。
- Android デバイスと同じサブネットのネットワークにある機器が検索対象になります。
- 機器が PS3 または AirPrint に対応している必要があります。
- 拡張 USB プリントサーバータイプ A は使用できません。

IP アドレスで検索する

重要

- 機器が PDF ダイレクトプリント機能に対応しているときは、[PDF ダイレクトプリント] の項目が表示されます。

1. メインメニューの [設定] をタップします。
2. [機器選択] をタップします。
3. [機器検索] をタップします。
4. [ホスト名/IP アドレス検索] の入力フィールドをタップします。
5. キーボードが表示されるので、ホスト名または IP アドレスを入力します。
6. [ホスト名/IP アドレス検索] をタップします。
7. [機器検索結果] 画面で、追加する機器にチェックを付けます。
8. [機器追加] をタップします。

[機器選択] 一覧に追加されます。

補足

- IP アドレスは 0 から 255 までをドット (.) で区切った形式で入力してください。(例:168.190.0.1)
- 機器が SNMP に対応している必要があります。
- 動作確認されていない機器も指定可能です。動作確認済みの機種であるかご確認ください。動作確認済みの機器については、P.41「対応機器」を参照してください。
- ホスト名は DNS サーバーに登録されているホスト名を入力してください。
- 拡張 USB プリントサーバータイプ A は使用できません。

IP アドレスで検索してプリントサーバーを指定する

重要

- プリントサーバーを指定したときは、[PDF ダイレクトプリント] の項目は常時表示されます。PDF ダイレクトプリント機能に対応したプリントサーバーを使用するときだけ、チェックを付けてください。
- 機器を登録したあとにその機器の IP アドレス等の情報が変更になったときには、一度機器一覧から削除して、再度機器を登録してください。再登録しないときは、変更前の機器情報で印刷されるため、予期せぬ問題が発生する可能性があります。

1. メインメニューの [設定] をタップします。
2. [機器選択] をタップします。

3. [機器検索]をタップします。
4. [サーバー検索する]にチェックを入れます。
5. [ホスト名/IP アドレス検索]の入力フィールドをタップします。
6. キーボードが表示されるので、ホスト名または IP アドレスを入力します。
7. [共有名]の入力フィールドをタップします。
8. キーボードが表示されるので、共有名を入力します。
9. [ホスト名/IP アドレス検索]をタップします。
10. [機器検索結果]画面で、追加する機器にチェックを付けます。
11. [機器追加]をタップします。

    [機器選択]一覧に追加されます。

補足

- IP アドレスは 0 から 255 までをドット(.)で区切った形式で入力してください。(例:168.190.0.1)
- 共有名はプリントサーバーに設定されている共有名を入力してください。詳細は管理者に問い合わせてください。
- ホスト名は DNS サーバーに登録されているホスト名を入力してください。

参照

- 対応しているプリントサーバーは P.41「対応プリントサーバー」を参照してください。

登録した機器の情報を表示する

1. メインメニューの[設定]をタップします。
2. [機器選択]をタップします。
3. 機器選択一覧に表示されている機器をタップします。

    [機器詳細]画面に以下の情報が表示されます。

モデル	機器のモデル名を表示します。
機能	機器が対応している機能のアイコンを表示します。 • :プリンター機能 • :スキャナー機能
ホスト名/IP アドレス	機器検索時に入力したホスト名または IP アドレスを表示します。
PDF ダイレクトプリント	PDF ページ記述言語が搭載されている機器のときだけ表示されます。

印刷属性の初期値を設定する

プレビュー画面で表示される印刷属性の初期値を設定します。

初期値の変更は、次回アプリケーションを起動したときに反映されます。

ホーム画面へ戻ったり、ほかのアプリケーションへ切り替えても変更内容は反映されません。

反映させるためには本アプリケーションのメニュー画面で戻るボタンをタップして、アプリケーションを終了し、再度本アプリケーションを起動してください。

設定できる印刷属性は以下のとおりです。

カラー/白黒	印刷色を選択します。 初期値は、［カラー］です。 補足 • カラーに設定しても、白黒原稿を印刷したときは、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのトナーを使用して印刷されます。そのため機器本体のカラーカウンターにカウントされることがあります。ブラックトナーだけ使用して印刷したいときは白黒に設定して印刷してください。また、カラー原稿と白黒原稿が混在しているときも、カラーに設定して印刷すると、白黒原稿はカラーカウンターにカウントされることがあります。
印刷部数	印刷部数を設定します。 初期値は［1］です。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。 初期値は［A4］です。
方向指定	用紙の印刷方法を設定します。 初期値は［縦方向］です。
片面/両面	片面で印刷するか両面で印刷するかを選択します。 初期値は［片面］です。
用紙トレイ	給紙トレイを選択します。 初期値は［自動トレイ選択］です。
ステープル	ステープル印刷するかどうかを設定します。 初期値は［しない］です。
用紙種類	用紙の種類を設定します。 初期値は［普通紙/再生紙］です。
ジョブタイプ	印刷方法として［普通印刷］または［機密印刷］のいずれかを選択します。 初期値は［普通印刷］です。
ユーザー ID	機密印刷、オンデマンド印刷アプリケーションを利用して印刷するときに、半角英数字 8 文字以内で設定します。
パスワード	機密印刷で使用するパスワードを、半角英数字/記号で設定します。

2 色印刷	2 色印刷をするかどうかを設定します。 初期値は［オフ］です。 ［オン］にすると［カラー/白黒］に以下の項目が追加されます。 • 黒・マゼンタ • 黒・シアン • 黒・イエロー

スキャン属性の初期値を設定する

プレビュー画面で表示されるスキャン属性の初期値を設定します。

設定できるスキャン属性の初期値は以下のとおりです。

カラー/白黒	読み取る原稿の色を選択します。 初期値は、［カラー］です。
解像度	解像度を設定します。 初期値は［200dpi］です。
ファイル形式	スキャンされるファイルの形式を設定します。 初期値は［PDF］です。
原稿面	片面スキャンするか両面スキャンをするかを設定します。 初期値は［片面］です。
原稿セット場所	原稿をセットする場所を設定します。 初期値は［ADF］です。
文字向き	原稿の文字の向きを設定します。 初期値は［読める方向］です。
読み取りサイズ	読み取る原稿のサイズを設定します。 初期値は［A4］です。
原稿セット方向	原稿をセットする方向を設定します。 初期値は［長辺］です。

認証設定をする

プレビュー画面で表示されるユーザーコード認証と機密印刷の初期値を設定します。

重要

- **機器に設定されているドライバー暗号鍵が初期設定値から変更されているときは、Smart Device Print&Scan でユーザー認証はできません。**
- **ドライバー暗号鍵の設定状況は、管理者に問い合わせてください。**

ユーザー認証	ユーザー認証情報を付加して印刷するか、付加しないで印刷するかを選択します。 初期値は［オフ］です。 ［ユーザー認証］が［オン］のときは、ログインユーザー名、ログインパスワードの入力が可能です。 ［ユーザー認証］が［オフ］のときは、ユーザーコードの入力が可能です。
ユーザーコード	ユーザーコード認証で使用するユーザーコードを、8 文字以内の半角数字で設定します。
ログインユーザー名	［ユーザー認証］を［オン］にすると表示されます。 ユーザー認証で使用するログインユーザー名を、半角英数字/記号で設定します。
ログインパスワード	［ユーザー認証］を［オン］にすると表示されます。 ユーザー認証で使用するログインパスワードを、半角英数字/記号で設定します。

4. 印刷する

写真を印刷する

Android デバイス内にある写真を印刷します。

1. **メインメニューの［写真をプリント］をタップします。**
2. **表示されるリストから印刷する写真をタップします。**

   複数選択するときは、複数の写真をタップします。
3. **［確定］をタップします。**
4. **［写真選択］画面で をタップします。**

   ［プレビュー］が表示されます。
5. **必要に応じて、［設定］をタップして印刷設定を変更します。**
6. **戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。**
7. **［印刷］をタップします。**

補足

- 選択された写真の中で印刷対象から外すときは、写真をタップしてチェックを外します。再び印刷対象にするときは、その写真をタップしてチェックを付けます。

参照

- プレビュー画面で変更できる印刷属性は、P.26「変更できる印刷属性」を参照してください。

4

書類を印刷する

Android デバイス内にある PDF を印刷します。

Android デバイス内の PDF を印刷する

1. **メインメニューの［書類をプリント］をタップします。**
2. **表示される Android デバイス内のファイル階層から印刷する PDF を選択します。**
3. **［確定］をタップします。**

   ［プレビュー］が表示されます。
4. **必要に応じて、［設定］をタップして印刷設定を変更します。**
5. **戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。**
6. **［印刷］をタップします。**

補足

- 書類を印刷するには、機器が PDF ダイレクトプリント機能に対応している必要があります。機器が PDF ダイレクトプリント機能に対応しているときだけ、［機器詳細］画面に［PDF ダイレクトプリント］の項目が表示されます。
- PDF の付加機能によっては正しく印刷ができないことがあります。
- 印刷ページ数が正しく読み取れないときは、［印刷ページ指定］で［開始ページ］が 1、［終了ページ］が空白として表示されるときがあります。すべてのページを印刷するときはこのままで問題ありません。印刷ページを指定して印刷するときは、［他アプリ送信］をタップしてアプリケーションを選択し、PDF ファイルのページ数を確認後、正しいページを指定してください。不正な範囲で指定したときは、印刷されないことがあります。
- PDF ダイレクトプリント機能でサポートする PDF のバージョンについては、管理者に問い合わせてください。
- ［印刷］をタップしたときに、両面が正しく設定できない可能性がある旨のダイアログが表示されたら、［キャンセル］をタップしてから以下の手順で確認してください。
  1. ［他アプリ送信］をタップし、アプリケーションを選択して、PDF ファイルの 1 ページ目の原稿の向きを確認します。
  2. ［縦方向］になっているときは、再度［印刷］をタップして印刷します。
  3. ［横方向］になっているときは、［両面(左へひらく)］と［両面(上へひらく)］の設定と印刷結果が反対になるので、両面のひらき方向を反対に設定して印刷します。

- プレビュー画面で変更できる印刷属性は、P.26「変更できる印刷属性」を参照して
ください。

クリップボードを印刷する

クリップボードにコピーされているテキストを印刷します。

1. メインメニューの［クリップボードをプリント］をタップします。

［プレビュー］が表示されます。

2. 必要に応じて、［設定］をタップして印刷設定を変更します。

3. 戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。

4. ［印刷］をタップします。

補足

- テキストをクリップボードにコピーする方法は、コピーするアプリケーションやAndroid OS のマニュアルを参照してください。

参照

- プレビュー画面で変更できる印刷属性は、P.26「変更できる印刷属性」を参照してください。

Web ページを印刷する

Smart Device Print&Scan で表示している Web ページを印刷します。

1. **メインメニューの［Web ページをプリント］をタップします。**
2. **URL の入力フィールドをタップします。**
3. **表示されるキーボードに印刷する Web ページの URL を入力します。**
4. **をタップします。**

   ［プレビュー］が表示されます。
5. **必要に応じて、［設定］をタップして印刷設定を変更します。**
6. **戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。**
7. **［印刷］をタップします。**

補足

- 表示した Web ページをブックマークに登録できます。
- ブックマークは Android デバイスの標準ブラウザーと共有されます。
- Android デバイスによっては、Smart Device Print&Scan でブックマーク登録できないことがあります。そのときは、標準ブラウザーからブックマークを登録してください。
- 表示する Web ページによっては、正常に印刷プレビュー表示や印刷ができないことがあります。

参照

- プレビュー画面で変更できる印刷属性は、P.26「変更できる印刷属性」を参照してください。

4

クラウドにある書類を印刷する

クラウドストレージに保存されている文書を印刷します。

対応しているフォーマットは以下のとおりです。

フォーマット	拡張子
JPEG	jpg, jpeg
PDF	pdf

1. メインメニューの［クラウドからプリント］をタップします。
2. 使用するクラウドをタップします。

   使用できるクラウドストレージサービスは、Dropbox と Google Drive です。
3. Android デバイスで初めてクラウドストレージに接続するときは、ログインします。
4. 印刷するファイルをタップします。

   ［プレビュー］が表示されます。
5. 必要に応じて、［設定］をタップして印刷設定を変更します。
6. 戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。
7. ［印刷］をタップします。

参照

- プレビュー画面で変更できる印刷属性は、P.26「変更できる印刷属性」を参照してください。

4

ほかのアプリケーションの写真や書類を印刷する

写真や書類、Web ページの内容をほかのアプリケーションで開く機能を持っているアプリケーションから、写真や書類、Web ページの内容を Smart Device Print&Scan で印刷できます。

ほかのアプリケーションから本アプリケーションで印刷可能な写真・書類の種類は JPG と PDF です。

1. **ほかのアプリケーションで、Smart Device Print&Scan で印刷する写真や書類、Web ページを表示、または選択します。**
2. **［アプリケーションを選択］画面を表示させます。**
3. **アプリケーションリストの中から［Smart Device Print&Scan］を選択します。**
4. **アプリケーションが切り替わり、［プレビュー］画面が表示されます。**
5. **必要に応じて、［設定］をタップして印刷設定を変更します。**
6. **戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。**
7. **［印刷］をタップします。**

補足

- ［アプリケーションを選択］画面を表示する手順は、アプリケーションによって異なります。そのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

参照

- プレビュー画面で変更できる印刷属性は、P.26「変更できる印刷属性」を参照してください。

4

変更できる印刷属性

［プレビュー］画面で変更できる印刷属性は以下のとおりです。

機器選択	登録されている機器の中から印刷する機器を選択します。 機器が登録されていないときは、［機器検索］をタップして機器を登録します。 参照 • 機器登録の方法は、P.11「使用する機器を登録する」を参照してください。
カラー/白黒	印刷色を選択します。 補足 • カラーに設定しても、白黒原稿を印刷したときは、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのトナーを使用して印刷されます。そのため機器本体のカラーカウンターにカウントされることがあります。ブラックトナーだけ使用して印刷したいときは白黒に設定して印刷してください。また、カラー原稿と白黒原稿が混在しているときも、カラーに設定して印刷すると、白黒原稿はカラーカウンターにカウントされることがあります。 • 機器によっては、［2 色印刷］を設定しても、カラーで印刷されることがあります。
印刷部数	印刷部数を設定します。 補足 •［書類をプリント］または［Web ページをプリント］でプレビューするとき、2 部以上に設定すると、常にソートされて印刷されます。 • ソート機能に非対応の機器機器で印刷したときは、スタック印刷されます。
印刷ページ指定	［オン］にすると［開始ページ］と［終了ページ］を指定できます。 補足 • PDF を印刷するときだけ設定できます。 • Android デバイスでは、原稿によって正しくページ数が取得できないことがあります。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
方向指定	用紙の印刷方法を設定します。 補足 • PDF 原稿のときは方向指定できません。原稿の方向のまま出力されます。
片面/両面	片面で印刷するか両面で印刷するかを選択します。

集約	［PDF ダイレクトプリント］が［オン］のときだけ設定できます。 補足 • ［書類をプリント］のプレビューするときだけ表示されます。
用紙トレイ	給紙トレイを選択します。
ステープル	ステープル印刷するかどうかを設定します。
用紙種類	用紙の種類を設定します。 補足 • 印刷する機器がジェルジェットプリンターのときだけ設定可能です。
フォントサイズ	クリップボードにコピーされているテキストを印刷するときのフォントサイズを設定します。 初期値は［中（12 point）］です。 補足 • ［クリップボードをプリント］のプレビューするときだけ表示されます。
ジョブタイプ	印刷方法として［普通印刷］または［機密印刷］のいずれかを選択します。

5. セキュリティー機能を使用して印刷する

機密印刷機能を使用して印刷する

登録機器の機密印刷機能を使用し、出力文書を機密印刷文書として機器に蓄積してから印刷します。登録機器の操作部を使用して印刷し、印刷した文書をすぐに回収できるため、他人に見られることを防止できます。

1. メインメニューの［写真をプリント］、［書類をプリント］、［クリップボードをプリント］、［Web ページをプリント］、［クラウドからプリント］のいずれかで印刷する文書をプレビューで表示します。

2.［設定］をタップします。

3.［ジョブタイプ］をタップして、［機密印刷］を設定します。

4.［ユーザー ID］と［パスワード］を設定します。

5. 戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。

6.［印刷］をタップします。

機密文書設定したジョブが登録機器に保存されます。

参照

- 登録機器から機密文書を印刷する方法は、登録機器の使用説明書を参照してください。
- 事前に初期設定として機密印刷を設定する方法は、P.17「認証設定をする」を参照してください。

ユーザーコード認証を使用して印刷する

登録機器に設定されたユーザーコード認証機能を使用して印刷します。

重要

- 事前にユーザーコードを登録機器のアドレス帳に登録することが必要です。ユーザーコードの登録については、登録機器の管理者に問い合わせてください。

1. メインメニューの［写真をプリント］、［書類をプリント］、［クリップボードをプリント］、［Web ページをプリント］、［クラウドからプリント］のいずれかで印刷する文書をプレビューで表示します。
2. ［設定］をタップします。
3. ［ジョブタイプ］をタップして、［普通印刷］を設定します。
4. ［ユーザー ID］に 8 桁のユーザーコードを入力します。
5. 戻るボタンをタップして、［プレビュー］に戻ります。
6. ［印刷］をタップします。

参照

- ユーザーコード認証の詳細は、登録機器の使用説明書を参照してください。
- 事前に初期設定としてユーザーコードを設定する方法は、P.17「認証設定をする」を参照してください。

6. スキャンする

スキャナーで取り込む

登録機器のスキャナーを使用して、スキャンしたJPEGやPDFをAndroidデバイスに取り込みます。

1. [スキャン設定] で設定した [原稿セット場所] に原稿をセットします。
2. メインメニューの [スキャナーで取り込む] をタップします。
3. 必要に応じて、[設定] をタップしてスキャン設定を変更します。

   変更できるスキャン設定は以下のとおりです。

機器選択	登録されている機器の中からスキャンする機器を選択します。 機器が登録されていないときは、[機器検索] をタップして機器を登録します。 参照 • 機器登録の方法は、P.11「使用する機器を登録する」を参照してください。
カラー/白黒	読み取る原稿の色を選択します。
解像度	解像度を設定します。
ファイル形式	スキャンされるファイルの形式を設定します。
原稿面	片面スキャンするか両面スキャンをするかを設定します。
原稿セット場所	原稿をセットする場所を設定します。
文字向き	原稿の文字の向きを設定します。
読み取りサイズ	読み取る原稿のサイズを設定します。
原稿セット方向	原稿をセットする方向を設定します。

4. 戻るボタンをタップして、[プレビュー] に戻ります。
5. [スキャン] をタップします。

   スキャンされた画像が表示され、スキャンされたファイルが [スキャンデータフォルダ] に格納されます。

6. 必要に応じて以下のアイコンをタップします。

(削除)	スキャンデータフォルダに自動で保存されたデータを削除します。
(プレビュー)	スキャンデータをプレビューで表示します。

（他アプリ連携）	アイコンをタップすると以下のメニューが表示されます。 • クラウドに保存 スキャンしたファイルを Dropbox または Google Drive に保存します。 • 他アプリ送信 • ［アプリケーションを選択］画面が表示され、スキャンしたファイルをほかのアプリケーションへ送信できます。 • キャンセル 動作をキャンセルします。

スキャナーで取り込んだデータを確認する

スキャナーで取り込んだ画像を確認します。

1. メインメニューで［スキャンデータフォルダ］をタップします。

スキャンデーター覧に［ファイル名］、［サイズ］、［更新日時］が表示されます。

2. スキャンデータファイルをタップします。

［プレビュー］が表示されます。

3. 必要に応じて以下のアイコンをタップします。

（削除）	スキャンデータフォルダに自動で保存されたデータを削除します。
（プレビュー）	スキャンデータをプレビューで表示します。
（他アプリ連携）	アイコンをタップすると以下のメニューが表示されます。 • クラウドに保存 スキャンしたファイルを Dropbox または Google Drive に保存します。 • 他アプリ送信 • ［アプリケーションを選択］画面が表示され、スキャンしたファイルをほかのアプリケーションへ送信できます。 • キャンセル 動作をキャンセルします。

補足

• スキャンデーター覧で［編集］をタップするとスキャンデータを削除できます。

6

7. こまったときには

トラブルシューティング

Smart Device Print&Scan を使用しているときに表示されるメッセージと、原因と対処方法を説明します。

機器検索のエラー

メッセージ	原因	対処方法
ホスト名または IP アドレスのフォーマットが不正です。もう一度入力してください。	• ホスト名/IP アドレスのフォーマットが正しくない。 • DNS ルックアップできない。	• 正しいフォーマットでホスト名 IP アドレスを入力してください。 • OS の DNS 設定が正しい確認してください。 • 存在するホスト名を設定しているか確認してください。
共有名が不正です。	• 共有名が空のまま検索した。	• サーバーの共有名を確認して正しく入力してください。
指定されたホストは、このアプリに対応したサーバーではありません。	• 機器検索で指定した共有名/IP アドレスが、プリントサーバではない。	• プリントサーバの共有名と IP アドレスを確認して、正しく入力してください。

印刷のエラー

メッセージ	原因	対処方法
印刷に失敗しました。	• 印刷できない。	• 用紙サイズや解像度を下げて印刷してください。

スキャンのエラー

一部のエラーでは、エラーメッセージとは別に、スキャナーのエラーコードが表示されます。

7

メッセージ	原因	対処方法	エラーコード
選択した機器はこのアプリのスキャン機能に対応していません。	• 本アプリケーションに対応したスキャン機能（ScanGeneric 対応）を持たない機器が選択されている状態で［スキャン］をタップした。	• 本アプリケーションに対応したスキャン機能を持つ機器に接続し、選択してください。	-
スキャナーが使用できません。 スキャナーの接続状態を確認してください。	• 機器との接続で失敗した。	• 機器を正しく接続してください。 • ネットワークケーブルの接続を確認してください。 • 機器の電源が入っているか確認してください。 • Android デバイスを再起動してください。	8528
	• 自動原稿送り装置（ADF）のカバーが空いている。	• 自動原稿送り装置（ADF）のカバーを閉じてください。	34960
	• 自動原稿送り装置（ADF）が上がった状態になっている。	• 自動原稿送り装置（ADF）を下げてください。	34961
	• コピーなどのスキャナー以外の機能で使用されているため、スキャンできない。	• ほかのユーザーがスキャナーを使用していないか、確認してください。	36855
	• 現在、TWAIN スキャナー機能が使用できない。	• サービス実施店に連絡してください。	9220
ADF に原稿がありません。	• 自動原稿送り装置（ADF）に原稿がセットされていない。	• 自動原稿送り装置（ADF）に原稿がセットされているか、確認してください。	33696
ADF で原稿づまりが発生しました。	• 自動原稿送り装置（ADF）で紙づまりが発生している。	• 紙づまりを起こした原稿を取り除いてください。 • 使用している原稿が機器で読み取りできるものか確認してください。	34962

メッセージ	原因	対処方法	エラーコード
認証に失敗しました。	• ユーザーコードの認証に失敗した。	• 機器またはシステムの管理者に問い合わせてください。	8824
	• ログインユーザー名、ログインパスワード、ドライバー暗号鍵のいずれかが誤っている。	• ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。	35025
	• ログインしたユーザーにスキャナー機能を使用する権限が設定されていない。	• スキャナー機能を使用する権限が設定されている認証ユーザーでログインしてください。	35026
	• すでにほかのユーザーが認証しているためログインできない。	• ほかのユーザーの認証が終わるまで待ってください。	35027
	• 認証サービスが処理中である。	• 認証サービスの処理が終わるまで待ってください。	35028
	• 認証サービスが準備中である。	• 認証サービスの準備が終わるまで待ってください。	35029
	• 機器本体のアドレス帳が満杯のため、認証ユーザーをアドレス帳にコピーできなかった。	• 管理者に問い合わせてください。	35030
	• 機器本体のアドレス帳にユーザーをコピーするときに、認証ユーザーが重複して登録されていた。	• 管理者に問い合わせてください。	35031
原稿のサイズがわかりません。 読取サイズを設定してください。	• サイズ自動検知モードで原稿サイズの取得に失敗した。	• 原稿サイズを指定してください。 • 圧板ガラスのときは原稿の置き方のズレを直してください。	35008

メッセージ	原因	対処方法	エラーコード
スキャナーでエラーが発生しました。	• 本アプリケーションで指定した読み取り条件が正しくない。 • その他のエラーが発生した。	• 本アプリケーションを再インストールしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。	33376
	• Android デバイスの RAM が不足している。	• 起動している他のアプリケーションを終了してください。	4128
	• 機器のスキャナー用メモリーがほかの機能と共有されている機種で、ほかの機能が実行中に機器でメモリー確保に失敗した。	• ほかの機能の処理が終わるまで、しばらく待ってください。	34993
	• 機器でシステムリソース不足が発生した。	• リソース不足が解消されるまで、しばらく待ってください。	34994
	• スキャナーで復旧不可能なエラーが発生した。	• エラーメッセージとエラーコードをサービス実施店に連絡してください。	33280
	• ハードディスクに故障が発生した。	• 機器を再起動してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。	34870
	• ハードディスクに空き容量がない。	• 機器内の不要なファイルを削除して、ハードディスクの空き容量を十分に確保してください。	34997
	• アプリケーションや機器に問題がある。 • OS 環境が不適切である。	• Android デバイスを再起動してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。	5000

7

クラウドストレージのエラー

メッセージ	原因	対処方法
エラーが発生しました。インターネット接続を確認してください。	• クラウドストレージからのレスポンスがない。 • クラウドストレージでエラーが発生した。	• インターネットに接続されているか確認してください。 • クラウドストレージのサービスが停止していないか確認してください。

メインメニューのエラー

メッセージ	原因	対処方法
クリップボードにデータがありません。	• クリップボードが空の状態で、［クリップボードをプリント］をタップした。	• クリップボードにテキストをコピーした状態で［クリップボードをプリント］をタップしてください。

8. 付録

仕様

動作確認済みデバイス

動作核確認済みのデバイスについては、リコーホームページを参照してください。

対応 OS バージョン

対応する Android OS バージョン

2.2 以上

対応機器

株式会社リコー製のプリンターまたは複合機

対応機種（動作確認済み機種）については、リコーホームページを参照してください。

対応プリントサーバー

リコー LF Print Server AE2

Ridoc IO Gate

対応オンデマンド印刷オプション

リコーカンタン私書箱プリント AE2

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

libjpeg-6b

http://www.ijg.org/

There are some items seeking the notification to customer from the author of the OSS, besides the common descriptions.

Therefore, the full text reads as follows. In addition, ansi2knr.c, configure, config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh, install-sh in the following referred program are not included in this product.

LEGAL ISSUES

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright © 1991-1998, Thomas G. Lane.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf.

It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable.

The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software.

(Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)

So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.

To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format© is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

OpenSSL License

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

8

NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT,

8

INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

   "Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

   "Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

   "Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations,

elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License.

   Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License.

   Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution.

   You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions.

   Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks

   This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty.

   Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8

8. Limitation of Liability.

   In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability.

   While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.6.6, September 16, 2013, are Copyright © 2004, 2006-2013 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright © 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger

Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson

glennrp at users.sourceforge.net

September 16, 2013

libHaru

商標

Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Android は Google Inc.の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。